

まちの日記帳



親子で玩具を楽しむ 育児講演会を実施

2/24

びくに保育所で札幌第一こどものとも社取締役の藤田進氏を講師に迎え、『親子で一緒に「カブラ」で遊ぼう』と題した育児講演会が実施されました。

この日は「カブラブロック」という形や大きさ、比率が計算され、1種類の板でありながらイメージしたものを何でも製作できる玩具等を使用し、親子で工夫しながら東京スカイツリーなどを製作して楽しみました。

また、講師の藤田氏からは家庭や保育所で楽しめる様々なゲームの紹介も行われ、参加者した親子は、コミュニケーションツールとしての玩具やゲームを体験しました。



元気なお年寄りが交流 老人クラブ連合会交流会が開催

2/28

総合文化センターで積丹町老人クラブ連合会交流会が開催され、町内の各老人クラブから101人が集まりました。

午前中は北海道新聞社編集局生活部編集委員福田淳一氏による「超高齢社会の生き方」と題した講演が行われました。講演では、統計から見た日本の高齢化の現状や生涯に渡って生きがいを持って生活することの大切さが話され、参加者は熱心に講師の話に聞き入っていました。

午後は、美国宝寿会と野塚悠ゆう会の皆さんによる歌や舞踊が披露され、歓声が飛び交う賑やかな交流会となりました。



頑張れ、鍵谷選手！中村選手！ 18市町決起集会・抽選会 「積丹町」帽子への掲出権獲得！

3/3

北海道日本ハムファイターズ「18市町村代表者×応援大使 決起集会」が札幌市内のホテルで開催され、応援大使に就任した38選手と各市町村代表者が一堂に会し、松井町長は積丹町応援大使の鍵谷陽平・中村勝両選手と初対面し、交流を行いました。

また、この席上で、5月中に実施される《WE LOVE HOKKAIDO シリーズ2016》で選手が着用するユニホームやキャップ、ヘルメットへの市町村名掲出権の抽選会が行われ、見事、松井町長がキャップへの町名掲出権を獲得。5月3日から11日までの期間、積丹町の町名がキャップ右側に掲出されることになりました。



▲写真 (左) 鍵谷陽平選手 (右) 中村 勝選手

優勝目指して！

第25回町内卓球大会

3/5

B&G海洋センターで「第25回町内卓球大会」が開催され、35人が参加、各部門で優勝を目指して熱い戦いを繰り広げました。結果は次のとおりです。（敬称略・優勝者のみ掲載）

【大会結果】

小学生の部3～4年生女子シングルス **入間川柊空**
小学生の部4～6年生男子シングルス **入間川海星**
中学生の部男子シングルス **野澤瑞樹**
一般ピンポンの部男子シングルス **成田友亮**
一般ピンポンの部女子シングルス **佐々木万里**
一般スリッパ卓球男女混合ダブルス **船田美子・成田公子**



みんなで歌って元気に！

第4回リフレッシュ学級

3/10

総合文化センターで第4回リフレッシュ学級「みんなで歌おう 歌い継ぐ唱歌」が実施されました。

この日は講師に余市町生涯学習サークル「コールアミーケ」の藤田繁氏と小島慶子氏を迎え、腹式呼吸や発声方法の指導の後、実際に大正・昭和から歌い継がれてきた懐かしの唱歌を歌いました。

講師の「歌い継がれてきた唱歌や懐メロは私たちの心を癒し、元気にしてくれる力があります。」という言葉通り、参加者はこの教室を大いに楽しみ、明日への活力としていました。



“良いもの” 当たって！

岬の湯しゃこたん「ビンゴ大会」

3/5

3/12

岬の湯しゃこたんで日頃のご愛顧に感謝し、「ビンゴ大会」が開催され、入浴客などが運試しを楽しみました。

4年ぶりの実施となった昨年に引き続いての開催となった今回のビンゴ大会には、14社の協賛をいただき豪華景品が用意されました。

参加者は、一つひとつ番号が読み上げられるたびに一喜一憂し、会場は賑やかな雰囲気になりました。

来館し、ビンゴ大会に参加して下さった町内外の皆様にご感謝を申し上げます。



まちの日記帳